

# 大腸癌に対する mFOLFOX6+Bevacizumab療法

レボホリナート+オキサリプラチン+フルオロウラシル+ベバシズマブ (RPHW\_DRPHW\_)

2008年07月08日 承認

Dr.sign

Ns.sign

Ph.sign

病棟・科名	登録番号 《SYPID》	氏名 《ORIBP_KANJI》様	年齢 《SYAGE》	身長 cm	体重 kg	体表面積 m <sup>2</sup>
疾患名	施行予定日 月 日 ~ ( )	コース目	実施サイクル コース予定	【調製指示】 <input type="checkbox"/> 調製可 <input type="checkbox"/> TEL連絡後調製		
備考[標準投与量逸脱など]				放射線併用 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		

Day1 ( / )

《治療当日・治療前》

アプレピタントカプセル125mg 1回 1Cを  
治療開始前に服用

本管(中心静脈ポート)

生理食塩水 100mL

ルート確保後、主管は止めること

側管

全開で 生理食塩水 50mL

生理食塩水 100mL  
ベバシズマブ mg

開始時 (15min)  
グラニセトロン1mg/生食50mL  
デキサート3.3mg 1A  
(リン酸エステル換算 4mg)

同時投与 (2hr)  
5%ブドウ糖 250mL  
レボホリナート mg

(2hr)  
5%ブドウ糖 250mL  
オキサリプラチン mg

(全開でdiv) (2分程度で)  
生理食塩水 20mL※  
フルオロウラシル mg

(全開でdiv)  
生理食塩水 50mL

※ポート時 (46hr)  
生理食塩水 140 mL  
フルオロウラシル mg  
★全量140mLに調製

(インフューザーポンプを使用)

終了後に自己抜針

(初回は本人及び家族に指導し、自己抜針してもらう)

Day2 ( / ) ~ Day3 ( / )

《治療翌日朝より2日間服用》

デカドロン錠 1回 4錠を  
1日2回(朝昼食後) 服用

アプレピタントカプセル80mg 1回 1Cを  
午前中(朝食後)に服用

初回 : 90分かけてdiv  
↓ (忍耐力良好)  
2回目 : 60分で投与可  
↓ (忍耐力良好)  
以降 : 30分で投与可

※50mLの容器から30mLを破棄

mFOLFOX6+Bevacizumab療法

標準投与量:

Bev	5 or 10 mg/kg	day1
I-LV	200 mg/m <sup>2</sup>	day1
L-OHP	85 mg/m <sup>2</sup>	day1
5-FU	400 mg/m <sup>2</sup>	(bolus)
5-FU	2,400 mg/m <sup>2</sup>	(46hr持続)

2週毎